

白鷹町観光交流推進計画（案）へのパブリックコメントの概要と対応

令和7年2月

白鷹町商工観光課

No.	区 分	ご意見の概要	町としての考え方
1	<p>第2節 観光交流の現状と課題</p> <p>2. 白鷹町の取り組み</p> <p>イ. 施策について</p> <p>③気になる町、訪れたい町！ (交流推進・周遊促進)</p>	<p>白鷹町の魅力は、風景。5～6月の西山の残雪の山なみ、桜とこぶしの風景が何より美しい。土手に沿って桜を植え、春の景観を完成させてはどうか。(20年計画)長井の桜提の延長の景色が白鷹ならではの美しさで他県の名勝にも勝る。</p> <p>食は蕎麦。そして新鮮な野菜が土産。</p> <p>紅花一辺倒は期間が短すぎてあまり魅力を感じていない。</p>	<p>引き続き、景観や食といった白鷹町の観光資源を活用した事業展開を進めて参ります。</p>
2	<p>(1) 景観について</p> <p>(2) 「日本の紅（あか）をつくる町」について</p>	<p>(1) 景観について</p> <p>①白鷹山レーダー雨雪量計測施設より白鷹町を一望できるが車で自由に行き来できないのが残念である。紅葉の頃など開放は出来ないものか。</p> <p>②最上川展望公園までの道路の整備。下山、萩野より道路の整備を行い気軽に行ければよい。</p> <p>(2) 「日本の紅（あか）をつくる町」について</p> <p>中山地区での栽培者の高齢化、後継者育成、連作障害への対応</p> <p>西山形地区での大規模な紅花栽培を見れば白鷹町は、日本一ではなくなるのではないか。あの栽培面積を見に行っと思うがどう感じたか。乱花しか作らないようだ。品質はどうかわからない。山形県紅花生産組合連合会には参加せず独自の取り組みのようだが？</p>	<p>白鷹山レーダー雨雪量計測施設への道路は、施設管理用道路のため、一般開放しておりません。また、既存の白鷹山登山道と各アクティビティとを連携した活用を検討して参ります。</p> <p>最上川展望公園については、関係機関との協議や検討を行い、町内の観光資源との有効活用に向けて取り組みます。</p> <p>紅花生産者の後継者育成、紅花の連作障害については、安定的且つ品質を維持した生産に向けた課題と認識しています。引き続き、後継者や担い手の育成に向けた栽培技術研修や連作障害に対する土壌改良への対策を継続して進めて参ります。</p>